

指定校番号	28099	学級活動	児童会・生徒会活動	<input type="radio"/>	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	-----------------------	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校

「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長	沼本愼二	生徒指導主事	吉岡知美
-----	-------------	----	------	--------	------

取組事例名	『無言清掃実施に向けて』
取組のねらい『キーワード	目標に向かって行動を継続していく強い心の育成』
<p>○生徒一人ひとりが清掃を通して心を磨き、人間として成長すること  (補足)「心を磨く」とは、自分で目標を立て、目標を達成するための行動力をつけ、その行動を粘り強く継続し続ける強さを身につけていくことと捉える。</p> <p>○無言清掃を通して身につけたい5つの心  我慢する心 気づきの心 思いやりの心 感謝する心 正直な心</p>	
取組の具体的内容『キーワード	リーダーの意識を高める』
<p>Step1 美化委員会にて、無言清掃の目的や意義について委員会のメンバーが理解をし、実施に向けての流れを把握する。</p> <p>Step2 生徒朝会で美化委員長が「<u>無言清掃の目的</u>」と「<u>それを通してどのような力を身につけていこうとしているのか</u>」と<u>活動の流れ</u>を説明する。(各委員会からの報告のところで説明するのではなく、特別に「無言清掃実施に向けて」といった時間を設けて説明する。</p> <p>Step3 取組第1回目の日に、美化委員長が放送により、今日から無言で清掃を行う取組することを宣言し、いつも以上に早く掃除場所に行かせる。(5分前集合をめざす)教員も集合場所にさらに早めに行き、担当掃除場所の生徒が来るのを待つ。集合後、掃除長が、メンバーの担当用具や担当場所を確認後、今日から本腰を入れて無言清掃に取り組んでいくことを説明するとともに、どこからどこまでが無言なのかを確認する。その後、掃除長が「無言清掃をはじめます」「礼」と号令をかけ、清掃を開始する。その後は一切、無言です。担当教員も無言で指導する。片付けの放送が入ったら、無言でもとの場所に集まり、掃除長が「無言清掃の振り返りを始めます」「礼」で振り返りを始める。評価を確認後、掃除長が「これで無言清掃を終わります」「礼」で終了する。担当教員は点検簿にサインをする。</p>	
取組の課題・創意工夫『キーワード	生徒の生徒による生徒のための取組に発展させる』
<p>【実践するにあたっての留意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 掃除時間開始のチャイムが鳴る3分前までに掃除場所に行かせることを徹底。</li> <li>② 掃除長の開始の号令から、振り返りタイム開始の号令までは、無言で活動することを徹底。</li> <li>③ 指導に当たる教職員も無言の徹底。</li> <li>④ 全員に掃除道具を持たせることを徹底。</li> </ol> <p>【美化委員長の思いや願いを全校集会で伝える】～取組の形骸化を防ぐために～</p> <p>○本校の美化委員長が全校集会で以下のような思いを伝えてくれました。</p> <p>私が美化委員長になってから初めて皆さんの前で「無言そうじをしましょう。」と呼びかけたのは、まだ私が中学2年生のときでした。大きな不安を抱えながらも勇気を出して言</p>	

った次の日の掃除のときでした。学校内では本当に甘中の生徒全員がいるのかを疑ってしまうくらい、すごく静かになったことを今でも鮮明に覚えています。1年生の皆さんはまだ入学していなかった時のことですが、2・3年生の皆さんは覚えているでしょうか。私は、こらえないとすぐに涙が出てきてしまうくらいすごく嬉しくて、感謝の気持ちでいっぱいでした。これからも、みんなで頑張りたいと思っていました。

でも、時間がたつにつれてみんなの意識は、だんだんと低くなり、協力して無言そうじしてくれる人も少なくなり、少し前までは、私の顔を見ると「無言そうじをしなきゃ」と思ってくれていた人も、それさえもなくなり、平気で何も動かない人、中には「もう放送が流れるだろうからさっさとやめよう」と思ったことがある人もいます。

私たちが生徒会の活動をするのも残りわずかとなりましたが、私は今でもこのような状況を変えたいと思っているし、みんなと協力してやりたいと毎日のそうじ時間中に思っています。学校内にいる人全員で時間いっぱい協力してやってみませんか。共感してくれる人がひとりでも多くいると嬉しいです。よろしくお願いします。

#### 取組の成果（効果）『キーワード 掃除時間の振り返りは無言清掃達成に焦点化』

6月実施の第1回生徒アンケートの結果 第2回目は2月に実施予定

Q：あなたは無言そうじを実行していますか

4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない

1：まったくあてはまらない

【4と3の割合】

1学年＝82.1% 2学年＝72.4% 3学年＝85.8%

#### 今後の展開『キーワード 他律から自立へ』

定期的に美化集会を全校や各学年集団で実施し、企画運営を全て生徒側で実行できるように主体的かつ自治的な活動へと転換していく。問題点や課題点を自らの力で発見し、改善したり質の高い清掃活動に変えていくための検討会やクラス協議の場を生徒会活動として設定していく。

#### 他校へのアドバイス『キーワード 教員の動きを揃える』

生徒が教員側が望むような動きにならない場合、次の3点についてチェックしていく必要があると考えています。

1. 生徒に取組の目標や具体的な動きや方法が明確に伝わっているかどうか  
(掃除のやり方を写真や動画で見える化する等)
2. リーダー的な役割を担っている生徒に取組の実態を把握させ、成果や課題を整理させているかどうか
3. 全教職員が、取組の具体を明確に把握し、動きを揃えることができているかどうか